

# ハイマート Heimat

ぐんま日独協会会報

2002年 2月11日 発行

祝  
**25** 敬宮愛子内親王御生誕  
シュミーグロー大使  
歓迎!!

発行者 平形 義人  
発行所 ぐんま日独協会

〒377-0007  
渋川市石原966 母心堂 平形眼科方  
☎0279-22-0149 FAX 0279-24-6867



2001.12.8 クリスマス 於：群馬会館大理石の間

■ハイマート25号 目次……………頁

☆表紙 クリスマス……………1  
 ☆巻頭言・2002年を迎えて……………2・3  
 ☆クリスマス報告書……………4  
 ☆会員ドイツ旅行談……………5  
 ☆ベルツ研究資料 小山 宏……………6  
 ☆H・シュミーグロー大使お手紙……………7  
 ☆ぐんま日独協会  
 総会と大会のご案内……………8

クリスマス会参加者名簿 (順不同・敬称略)

1 小島トヨ子	2 高橋 美一	3 戸塚 良明	4 江原満里子	5 関 由紀子
6 平形 義人	7 篠原奈緒美	8 須田めぐみ	9 福田 幸子	10 渋谷ミドリ
11 鳥田 卓爾	12 小林 和男	13 佐藤 信一	14 横山 秀夫	15 角田 勤
16 角田 静忠	17 尾身 幸次	18 大内 健	19 佐藤 政行	20 湯浅 公子
21 福地紀美子	22 沢井 修子	23 福田 朋英	24 阿久澤達子	25 市村しげ子
26 田口久美子	27 都丸美智子	28 坂本 喜一	29 伊藤 康平	30 小口 文子
31 藤生 悦子	32 伊藤 澄子	33 黒田とめ子	34 八木 文夫	35 八木 和子
36 川島 孝一	37 中山 福治	38 深沢 厚吉	39 鈴木 克彬	40 鈴木 和子
41 井口 實	42 井口リウ子	43 井上 敏子	44 窪 由美子	45 高橋 徳光
46 小暮今朝光	47 野馬 良一	48 安達 忠夫	49 安達 園	50 木暮 幸子
51 飯塚実枝子	52 久保 賢二	53 中島 賢浩	54 小淵 優子	55 山本 一太
56 畦見 和佳	57 小山 禰一	58 針塚 藤重	(●代理)	

# 2002を迎えて

ぐんま日独協会会長 平形 義人

昨年は忘れ難い年でした。9月11日NYの国際貿易センター・ペンタゴンの同時多発テロ事件はビンラデン捕捉テロ撲滅戦争を惹き起し、日本はその平和的取扱いに小泉首相を中心に、緒方貞子議長を平和戦士としてアフガニスタンの復興を援けています。

籲って国内では皇室に待望の敬宮愛子内親王が12月1日に誕生した朗報は国内に充滿し、世界の主要国から、祝辞を受けました。思えば世界の平和を願いつつも、時に利あらずドイツとイタリアの欧州大戦の一翼を東洋で支える立場になって、太平洋で世界一の強国アメリカと戦いながら、戦犯にもなれなかった昭和天皇の年号で

言えば今年は丁度77年目です。ぐんま日独は昨年春にはDr.Uwe kaestner大使夫妻をお迎えして町制百周年の草津町の絶大な支援を受けてベルツ・草津大会を催し、(5.13)、秋には県国際交流まつり(10.7)に於て県国際交流賞を頂くことができましたことは、多年に亘る会員皆様様の御支援の賜と存じます。12.8には別稿の様にXマスを催し、群馬会館大理石の間に於て祝宴を開きました。今年は4月14日(日)・15日(月)に新大使Henrik Schmiegelow夫妻をお迎えして日独親善の大会を開きます。桜花の季節上州に日独親善交流の輪を拡げたいと存じます。

## 2001. Fröhliche Weihnacten (クリスマス)

例年の嘉例にならない、群馬会館大理石の間に於て1:00PMから4:30PMまで催されたが、N.Y.テロ事件の世界的混乱の世相に鑑み、伝統のクリスマスツリーも、サンタクロスも取止め簡素なものになると予想していた。ところが60人の出席を得、皆様の特段の御芳志を頂き御一同の御熱意で盛り上って、例年に遜色のない意義ある会となりました。

玄関前広場のホールには県管財課の御許して日章旗に並んでドイツ国旗が籲り、前月皇孫妃殿下御命名の儀があったお祝いとて、市村しげ子会員からお祝いの紅白の鳥の子餅が60ヶが配られ、大理石の間には日独の大国旗の前にベルシャ織緞をシクラメンで取巻いたステージが出来、5つの大テーブルが満席となった。

オープニングは「こうるゆうび」の江原満理子、関由紀子姉妹のコーラス、宝生流仕舞「鶴亀」福田幸子、地謡市川しげ子に始り、県国際交流賞受賞祝賀の意味をこめて特に県国際課長小島トヨ子(知事代理)から御丁寧なる祝辞を賜る。諸国会議員、前橋市長萩原弥惣治、その他の皆様から祝電、メッセージ等が続いた。

角田副会長のいつもながら軽妙な司会で八木文夫長老のドイツ語の乾杯に始まり、埼玉大学の安達忠夫教授のゲー

テの詩の朗読、最長老93才の草津の詩人坂本喜市会員から「山媛呼の詩」(日本武尊が東征の阿三浦半島走水で海難に遭った時、妃弟橘媛の入水に依り難を免れた。東征の帰途白根山頂より媛を懐しんだ幻想詩)の情熱的発表があり、渋川の針塚藤重会員のドイツ讀物の旅など、時間が不足する始末となった。

今日の引物はドイツから取寄せたマイバック(Einkaufstasche)とした、之はフランクフルト在住の清水恭代会員と対馬副会長の肝入りだ。勿論グリーン、コンシューマー(緑の消費者)運動の県の先頭に立つ鈴木克彬夫妻のIdeeでもある。

もう1つの持帰りシクラメンの小鉢は金子種苗の毎年の嘉例である。皆様まだよく咲いていますか。やり水をお忘れなく!!

高崎の常連豊水副会長が前年の腹部手術後遺症で欠席、詩吟が聴けませんでした、ブルノ・タウトの小山禱一商工会議所会頭が御参加下さいました。

フィナーレの鈴木克彬夫妻のレントラーは、見れば見る程妙技に感心させられる。その後、引続いて我々のフォークダンスとなったが時間のたつのが早く残念な程で、次回を期して散開とした。(写真参照) (平形 義人記)



司会者 角田副会長



仕舞 福田幸子

## ゲーテ古典期の詩

### GEFUNDEN 見出では

Ich ging im Walde	森ゆきぬ
So für mich hin,	すずろに
Und nichts zu suchen,	ただひとり
Das war mein Sinn.	あてもなく
Im Schatten sah ich	ふと木かげに
Ein Blümlein stehn,	見出では
Wie Sterne leuchtend,	星のごとかがやきて
Wie Äuglein schön.	瞳のごとやさしき花の一輪

Ich wollt es hrechen,	立ちよりに摘まんとすれば
Da sagt es fein:	花はつげぬ
Soll ich zum Welken	捨てられて
Gebrochen sein ?	はかなく枯るるわが身かと

Ich grub's mit allen	されば根ごと
Den Würzlein aus,	掘りとりて
Zum Garten trug ich's	狭庭へに
Am hübschen Haus.	われは移しぬ

Und pflanzt es wieder	しずかなる上に根づきて
Am stillen Ort:	年ごとに芽ぶき
Nun zweigt es immer	年ごとに花さける
Und blüht so fort.	いとしの草のひとつと

(大山定一訳)



“山嬢呼の詩” 坂本喜市氏



フィナーレは“ムシデン”

## 南ドイツ鉄道会社の株主総会に出席して

白倉 卓夫・由美子 (高崎市在住)

南独のローカル線、エクレス鉄道会社の第4回株主総会が昨年6月、バーデン・ヴュルテンヴュルグ州の町、オクセンハウゼンで開かれた。毎年この時期に町の公会堂で総会が開かれていて、一度は参加を、と前からヘロルド市長からは誘われていた。今回は偶々近くの町に滞在中だったのでこの株主総会に出席することが出来たというわけである。本誌で以前紹介させて戴いたことがあるが(ハイマート22号)、縁あって私共も沿線住民と一緒にこの会社の一株主となり、このローカル鉄道を微力ながら支援してきた経緯がある。今回の総会は国際的にも有名なオクセンハウゼン教会コンサートに併せて開催され、一年で最も美しい季節とも重なって町は観光客で賑わい、新聞も「世界中、また日本からも参加する総会」などといった記事を書いて、それは賑々しく華やかな中での開催となった。広場では庶民市場が開かれ、楽団の演奏が奏でられる中、会場となった大ホールでは長いテーブルに沿って思い思いに席についた三百人ほどの一株主達が開会前からサンドウィッチやコーヒー、なかにはビールを勝手に注文し、前掛け姿の女性が注文に応じてテーブルの間を盛んに動き回っていた。開会に先だって後方に陣取ったブラスバンドによる勇壮な行進曲が流れ、総会の雰囲気盛り上がったところで、開会が宣言された。州や町の来賓に続いて日本から参加した株主として私も挨拶を求められたので、「歴史あるこのエクレス鉄道の株主総会に東の果て(Fernost)から参加できたことは大変光栄であり、名誉なこと」などと持ち上げた。順調な経営とはいえない現時点での決算や、新しい機関車の購入を含む新しい予算案が活発な論議を経て承認

されたが、ナチ政権下で大いに活躍したという古い狭軌の鉄道を再生させようとする参加者達の熱意にはただただ圧倒されるばかりで、古いものを大切に国民性を改めて痛感させられた。

株主総会の予告記事  
(シュワーベン新聞、  
2001年6月16日)

SCHWÄBISCHE ZEITUNG

Samstag, 16. Juni 2001 / Nr. 136

### ► Öchsle-AG

#### Aktionärstreffen in Kapfhalle

OCHSENHAUSEN - Die Aktionäre der Öchsle-AG treffen sich heute, 15 Uhr, in der Kapfhalle Ochsenhausen zur Hauptversammlung. Auf der Tagesordnung stehen neben den jährlichen Planungen vor allem das neue Gesamtbetriebskonzept für die Museumsbahn, das millionenschwere Investitionen in die Bahnstrecke durch die Öchsle-AG vorsieht. Zudem soll eine Dampflok gekauft werden. Zur Veranstaltung werden Gäste aus aller Welt erwartet, so auch der japanische Aktionär Prof. Takuo Shirakura aus Takasaki nebst Frau.



臨時客員指揮者(著者)によるシュッセンリーダー楽団の演奏

## 津軽三味線ドイツ横断演奏旅行と回想記

館林市 對馬良一

正月の鏡開きも終わったある日、一通のファックスがドイツから届いた。

昨年8月25日から三週間の津軽三味線ドイツ横断演奏旅行でお世話になった、北ドイツのリンテルン市に住むハッセンブルークという老夫婦からである。帰国後、写真や礼状とクリスマスカードなどを送ったが先方からもクリスマスカードが届いた。ファックスは年末に送ったカレンダーに対するお礼だった。ファックスには、「美しい日本のカレンダーありがとうございます。先日は、私たちの家までおいで頂き皆様と楽しい一時を過ごすことができて感謝致しております」とメッセージが書き添えてあった。後述するがご夫妻が大変なお人たちであった。今回、二人の津軽三味線奏者と、とちぎ日独協会の橋本会長と4人でドイツ国内16都市で津軽三味線の演奏旅行をする機会に恵まれた。この企画には財団法人日独協会、ドイツ国内の独日協会ははじめ、デュッセルドルフ、ミュンヘン両日本総領事館、ルフトハンザ航空、フォルクスワーゲン社のご協力と日本国際交流基金の全面的な援助のお陰で実現したのである。日本の伝統文化を世界に紹介したいという津軽三味線の若手演奏家を連れての演奏旅行だった。会場は野外、学校、教会、老人ホーム、博物館、芸術ホールなどさまざまな会場で行われたのが何処も大盛況だった。途中、アメリカニューヨークのテロ事件のため、フュッセン、パッサウ、レーゲンスブルクの南ドイツ地方が中止になったのが残念でならなかった。しかし初期の目的である日本の伝統文化を紹介するという目的は十分に達成出来たと思っております。津軽三味線と言う世界には無名の楽器がこれほどドイツ国民に受け入れられるとは思っていませんでした。新聞などは三味線ロックと評価し大々的に報道された。この津軽三味線演奏会には一般の庶民から上流家庭の人々まで幅広い階級の人が会場に訪れたが、どの会場でも若い人の姿が目についた。若い人たちは控室まで訪ねてきて三味線という楽器の構造や、いままで聞いたことのない音に対する魅力などを話していたのが印象的でした。今まで歌舞伎や長唄など日本の古典芸能もドイツで公演されていたが、一部の上流階級の人たちだけで若い人々には見向きもされなかったが、この津軽三味線の独特の音色と早いリズムが若い人々の心を掴んだように感じた。フランクフルトの日本人国際学校では四百人の生徒父兄や独日協会の方が熱心に聞き入っていたが演奏者が感激のあまり泣き出すシーンもあった。デュッセルドルフでは日本年の記念行事、ザクセン・アンハルト州のハルデンスレーベン市では州の国際音楽祭に出演、ビーレフェルト市では国際交流祭り、レムゴ市ではエンゲルベルト・ケンペル生誕三百五十周年記念行事など国際的な行事にも参加し交流を深めました。また、今回はドイツ人家庭でのホームステイの貴重な経験も体験する事が出来た。ベルリンではハーシュ全国ドイツ独日協会会長のお世話で、ベルリン音楽協会で奥さんが日本の草月流の華道の教授のブカス夫妻の家で二泊し、さらに私の40年来の友人の家に三泊するなどドイツ人家庭での合理的な生活も体験することができた。さて、前記のハッセンブルーク家についてはただ感激でいっぱいでした。家に入ると各部屋の壁に掲げられている沢山の写真と絵画の数々。この人は世界的なグリム童話で知られる、グリム兄弟の妹さんの子孫でした。ヤコブとヴィルヘルムのグリム兄弟には9人の兄弟がいて幼くして3人が亡くなり、ただ一人の女の子シャロット・アマーリエが、ヴァルファ

ンク・ハッセンブルーク氏の祖々母である。ハッセンブルーク夫妻は、グリム兄弟のことについて話してくれたりグリム家の名前が入ったテーブルクロスやマイセンの食器、家紋入りのフォーク、ナイフなどで特別にもてなしてくれた。このような家に招待されるのが分かっていれば、もう少しグリム兄弟のことを勉強しておけばと後悔している。ハッセンブルークご夫妻の案内でハーメルンの笛吹き童子の野外ステージでは向かいがわの商店の特別席で見学することができた。津軽三味線ドイツ公演の最終日のレムゴの会場には、ご夫妻で駆けつけてくださり、ゲルダ夫人からグリム家に伝わるグリム菓子の作り方のコピーを頂いた。今では私に宝物として大事に保管している。さらに公演は中止になったがフュッセン市の市長夫妻に食事の招待を受けた。市長は私が群馬県から来たと知らされたせいか、姉妹都市の沼田市長から頂いたネクタイを締め、沼田市のパッチをつけて接待してくださいました。このように今回の演奏旅行は津軽三味線だけでなく、日独親善、日独文化、人物交流などの収穫があったと思っております。ミュンヘンの会場では、ニューヨークのテロ事件の犠牲者の冥福を祈り、私たち4名は舞台上から、そして顧客全員で黙祷を捧げてから演奏に入ったが、翌日、当日の様子が新聞でも大きく報道されていた。おとぎ話の国のように美しい町フュッセンのノイシュバンシタイン城とルートウイヒ二世のミュージカル劇場、チェコ、オーストリアの国境の町パッサウはドナウ川のほとりの静かな町、そしてドナウ河畔の美しい町レーゲンスブルク、世界遺産の鉦山の町ゴスラー、メルヘンの町ハーメルン、グリム兄弟博物館とヘラクレス像のあるカスカーデの町カッセル、赤紫色のエリカの大原野リューネブルガー・ハイデのリューネブルク、東西ドイツ統一後の世界の大都市ベルリン、ルール工業地帯の中心地エッセン、車のフォクスワーゲンの町ボルスブルクなどドイツ国内、北から南への7000kmに及ぶ距離をフォルクスワーゲンワゴン車で走破した。この車を女性ながら全工程を無事故運転されたビーレフェルト独日協会のノルエルト女史に心から感謝している。私の第二の故郷ドイツの旅行はさまざまな出来事や経験があったが、演奏終了後から数日間、昔の下宿先だった家のご主人の墓参りや、スポーツ仲間、ドイツに帰化した仲間が奥さんや子供、孫を連れて訪ねてきて旧交を温めた。限りなく美しい国ドイツに、再会を約し別れを告げ帰国したがテレビなどにドイツの画面が放映されると懐かしさがこみあげてくる昨今である。

俳句

富士と櫻

高崎市

小林 和男

初富士や怒涛の岸に佇みて

寒風に富士全容をさらしけり

初明り差して眩しき塵禪堂

花の山のほれば雲に在ることし

花吹雪今日と定めしごときかな

吐息して又仰ぎ観る絲櫻

## 土屋喜代子ぐんま日独協会副会長の思い出

前橋市 田口 久美子

平成13年11月10日の告別式がおこなわれ最後のお別れを信じられない気持ちで参りました。彼女が全身性膠原病という大変な病を持っているのは知っておりました。そして、最後の生活が病院で過ごされたのも。でも私が持っている彼女のイメージがそれを信じさせないのです。

私の記憶にある彼女との最初の出会いが群馬日独協会の会議の席で元気の良いあでやかな方で、年齢と関係なく色白なお顔に派手な洋服が良くお似合いです。

好奇心旺盛な方でお声をかけると建築関係の講習会などにも良く足を運んで下さったり、本当に病を抱えていらっしゃる方のように見えませんでした。

ベルリンの壁が崩壊してドイツ留学時代の友人や教授に会いたいという話の中から急に彼女と二人でフライブルグ、私の学んだカールスルーエ、そしてベルリンに旅することになりました。私の出した条件はたった一つ自分の荷物自分で持つこと、手を出してあげたいと思うときも多々ありましたが細い腕で大きなトランクを懸命に持っていらした姿は今も思い出して少し心が痛みます。その時はベルリンのブランデンブルグ門の前は整備されておらず外国人の物売りで溢れて安い琥珀細工を手にし



土屋様御葬儀

たりと若い娘に返ったようにはしゃいでいらっしやいました。

友人達もキヨコ、キヨコと歓迎して下さり、未だに彼女が亡くなったことを言えずにいるのです。「人は死ぬために生きている」と言う方もありますが、亡くなった後でもしっかりと私たちの心の中に生き続けていらっしやいます。これも彼女自身の真っ直ぐな生き方を貫き通された結果と思っております。

心からご冥福をお祈りいたしております。

### 惜別

土屋喜代子姉 2001.11.8 午後7時54分、72才で御逝去。本会創立以来の主要メンバーで、土屋文明調の和歌でハイマートの常連。ピアノではベルリン在住の荒憲一に私淑し、役員会では独特の話し方で会議の進行を促し、大会では来賓の接待係長で副会長、顧問をして御活躍されました。(4月28日)グハハラ老健病院に佐藤進一副会長と御見舞懇談した時は元気だったのに！御冥福を祈ります。(平形 義人)

前橋市天川大島の斎場でのお別れの平形会長の弔辞はお心のこもるお言葉でございました。土屋先生もさぞお喜びでしょう。地味でこじんまりした会場に、会長のお声とぐんま日独協会の生花も供えられ、天国にて派手好きな土屋先生もニコリしておられることと存じます。

天翔よ ピアノの調べ 菊薫る (澤井 修子)

齋藤純雄氏 富士オートKK相談役、ぐんま日独協会の創立当初以来の法人会員。群馬県自動車業界の雄として文化経済をリードされる。

勲三等瑞宝章。2001.12.6. 卒、享年88

甲斐文比古氏 「ベルリン日独センター初代総裁」として1788年皇太子様から鍵を渡された方であった。石橋長英日本国際医学協会会長からの信任厚く、最も若年にして外交官試験突

破のレコードを持つ秀才で、仇名は『閣下』。(1999)ぐんま日独協会総会へ「ユンク」公使御家族御一行と共に御来県下され、少林山達磨寺での作家朝雲久見臣との出遇いは『もうひとりのブルーノ・タウト』に認められた。ドイツ大使、浅草の永寿病院にて大往生、喪主正人(2001.9.2)享年90才

河野清晃氏 全国日独協会連合会副会長(高野山真言宗大安寺貫主、大僧正)は奈良日独協会長として常に緋の衣に杖をつけて議長を勤められ、1988聖徳太子十七条憲法独訳を出版。アデナウア大統領はじめドイツの要人と交はり、1976ドイツ功勞十字章受賞。2001.11.16 遷化。

### オーク記念植樹

ぐんま日独協会では昨年ベルツの草津に独大使 Uwe Kästner 訪問記念に、又1昨年にはブルーノ・タウト生誕120年記念に高崎少林山達磨寺にフォルクマー・シュテッカー公使等に依ってキャンベラ・オークを植えた。之は終戦内閣情報局総裁河相達夫が、戦後初代日独協会長として遺澤なされた際置られた種に依るものです。日経新聞02/1/28のコラム春秋によれば、本年日英同盟締結百年記念として英国大使館が全国百七十市町村にイングリッシュ・オークを植え、「日英グリーン同盟」の活動を繰り広げると言う。オークは千年以上の巨木にもなり、深緑の若葉の美しさ、秋の紅葉も美しい。オークに依り国際親善の発展と永続を祈る。

生ひたば木肌なめらかに天をつかむ

キャンベラオークは丈夫の木ぞ

桃井村植樹祭に 河相達夫 (昭37.4.20)

## ベルツ研究資料(新資料公開)

渋川市 小山 宏

### 1. はしがき

Erwin von Bälz (1849-1913) については、先学によって多くの研究発表がなされている。(以下ベルツと記す)

しかし、小説『花・ベルツへの旅』(講談社)の著者であるシュミット・村木女史から、ベルツの実家(ドイツ)には未公開の史資料のあるらしい事を入聞し、私から懇願して披見の機会を所望した。女史の努力で一部は来日折に直接資料を熟覧、その後は郵便によるドイツからのコピー(複写)によった。

### 2. 資料の意味

本資料の殆どは、いわゆる領収書の類であるが①年代(年紀)の判明するもの。②差出人と宛人が判明すること。③購

入及び取扱物品や内容が判明するもの等があり、これは在日中のベルツの生活内容や往時の生活レベルが判ること。特にベルツが「花」に買い與えた物品等の詳細が知られ、ベルツの心使いの具体的な内容が、生の姿で示されていて歴史史料、生活文化、民俗資料として、在日外国人の生活態様を垣間見られる点において特に注目している。

一例を挙げると次の4(一)1-(3)は東京銀座、桜組伊東金之助がベルツに差出した領収書であるが、伊東は上等靴師(?)で、注文靴の代金と分かるが、ベルツのものか夫人のものかまでは判明しない。しかし、呉服商の領収中の反物は「花」のものともみなしてよさそうが高価であり高級なものを買って与えた。ベルツが相当に花の機嫌をとって生活して

いた片鱗を伺わせる。

また、4(一)の1-(2)の葉山村(神奈川県)堀内の高梨清四郎の受領書は、ベルツ側の土地購入代金らしく多額で、ベルツの足跡を知る基本資料と見られるのである。

### 3. 史料解読と考察の問題点

本史料は差出人の氏名、屋号、職種、などを史料から得られるが、さらにこれを特定するためには当時の東京や神奈川

(葉山辺)について知る必要がある。

群馬県嬬恋村鎌原の火山災害調査発掘の指導に来県され、また、知友の飯能焼研究家の同級生である児玉幸多氏(学習院大学教授)が、江戸東京博物館館長をされていたので、出向し最上級の調査室で探索したが、参考となる資料は皆無でこれは中断している。

### 4. 領収書を主体とするベルツ史料

(一) 年紀の明らかな記録 (No 1、トーマ夫人送達分、No 2、眞寿美 S、村木送達分)

区分 No	(年・紀)	(差出人)	(あて名人)
1 (1)	明治21年(1888) 5月28日	東京・仙女香、坂本友七	上様(ベルツカ)
(2)	明治28年(1895) 1月29日	葉山村(神奈川県)堀内、高梨清四郎	荒井徳之助(ベルツの子)
(3)	明治35年(1902) 6月30日	東京京橋区元数寄屋町2丁目1番地、銀座桜組 伊東金之助	ベルツ御中(靴商)
2 (4)	明治31年(1898) 6月吉日	(東京)湯嶋坂上切通、山賀屋利八	上様(ベルツカ)

(二) あて先の知られる記録 (No 1、トーマ夫人送達分、No 2 眞寿美 S、村木送達分)

区分 No	(あて名人)	(年・紀)	(差出人)	(備考)
1 (1)	平井様	6月12日	まつや辰五郎	ベルツ夫人
(2)	ベルツ御中	明治35年6月30日	伊東金之助	
(3)	荒井徳之助	明治28年1月29日	高梨清四郎	ベルツの子、土地代金
(4)	十二番館様	欠年4月	太田屋	
(5)	ベルツ様	欠年6月16日	太田屋	
(6)	葉山館様	欠年8月23日	粉名清	十二番館カ
(7)	拾二番館様御上様	欠年9月30日	山田屋豊次郎	十二番館ベルツ館(やかた)
(8)	十二番館様	欠年1月15日	川越屋商店米三郎	
(9)	上様(以下同じベルツカ)	欠年	富田屋	
(10)	上様	欠年12月30日	平井	
(11)	上様	欠年2月13日	川越屋商店	
(12)	上様	明治21年5月28日	坂本友七(一の1-①)	
(13)	十二番館	欠年	太田屋(高郷丸印)	ベルツ館

区分 No	あて名人	年・紀	差出人
2 (1)	上様	11月1日	まつや辰五郎、湯嶋
(2)	上様	12月8日	石山洋服店
(3)	上様	4月18日	山賀利八
(4)	上	31年6月吉日	山賀屋利八
(5)	上	7月12日	山賀利八
(6)	上	11月29日	山賀利八
(7)	上	9月7日	山賀屋利八
(8)	上	11月27日	三河屋(下谷、池ノ端)
(9)	上	4月20日	明事屋(下谷区)
(10)	上	3月27日	長原

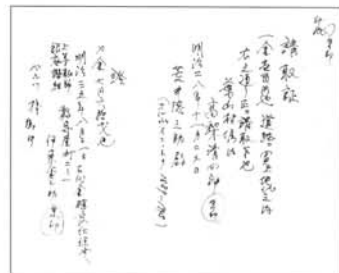
◎ 欠年、あて先、差出人不明 2通

### あとがき

20世紀は戦争と平和で象徴される世紀、今、ドイツ百年の催事が世界の注目を集めている。華々しい催物とはまた別に、日本と国運を共にし、歴史的には様々な文化の交流のあった友好国ドイツは、なお、東西間の経済や生活の平等化にも懸命に努力されている。

こうした政治経済などの大きな流れのほかに、本文で認めたような日独の基礎的な史料の発掘も、私たちに残された一つの課題でもあろう。最後に多忙な中で史料研究のかけ橋の任を果たされた眞寿美、S、村木女史に心からお礼を申し上げ、ご多忙を祈る。

(上毛民俗学会会長)



### 1、(写真解読)

#### ① 請取証

一金 壹百円也 道路に買土地代の内  
上記の通り正に請取年也  
葉山村 堀内  
高梨清四郎 朱印  
明治28年11月29日  
荒井徳之助 殿  
(エルヴィン・トク 1889-1945)

#### ② 証

メ金 七円六拾戊也

明治35年8月31日  
上記代金確受仕候也  
上等靴師 数寄屋町2-1  
銀座桜組 伊東金之助 朱印  
ベルツ 様 御中

### 2、(写真説明)

右、請取証。金百円屋敷に買土地代金の内、高梨清四郎差出、荒井徳之助あて  
左、数寄屋町2-1、上等靴師、伊東金之助差出ベルツあて、人物は村木女史、伊香保金太夫にて、小山宏撮す。

Tokyo, den 06. Dezember 2001

Sehr geehrter Herr Hirakata

haben Sie herzlichen Dank für Ihre freundlichen Zeilen vom 15. November anlässlich meines Amtsantrittes.

Ich weiß um die Bedeutung der Deutsch-Japanischen Gesellschaften für die Gestaltung und Fortentwicklung der bilateralen Beziehungen. Diese basieren weniger auf Kontakten zwischen unseren Regierungen als vielmehr auf persönlichen Kontakten zwischen Deutschen und Japanern. Die Deutsch-Japanischen Gesellschaften leisten diesbezüglich einen unschätzbaren Beitrag.

Den Termin Ihrer nächsten Vollversammlung Mitte April 2002 habe ich mir in meinem Kalender vorgemerkt. Sofern nicht andere drängende Termine anstehen, möchte ich gerne an der Vollversammlung teilnehmen.

Das Jahr 2001 nähert sich dem Ende. Ich darf Ihnen bereits jetzt meine besten Wünsche, Gesundheit und Erfolg für das kommende Jahr übermitteln.

Mit herzlichen Grüßen



**Der designierte Botschafter  
der Bundesrepublik Deutschland  
Henrik Schmiegelow**

東京, 2001年12月6日

ぐんま日独協会会長  
平形 義人 様

拝 啓

着任に際し頂きました11月15日付の丁寧なご書状に対し、茲に心より御礼を申し上げます。

二国間関係の構築並びに更なる発展にとり、日独協会というものがいかに重要であるかを私は十分に認識しております。二国間関係は、両国政府間の交流にも増してドイツ人と日本人の人的交流を基盤としており、この点に関して各日独協会とも計り知れない程の貢献をしているのであります。

貴協会の次期総会は2002年4月中旬に行われること、予定表に記入致しましたので、他に緊急な案件が生じない限り、同総会に参加させて頂きたいと存じます。

年の瀬も迫ってまいりました。多少時期尚早ではありますが、新年におけるご多幸、ご健勝並びにご成功をお祈り申し上げます。

敬 具

この大使シュミーゲローの御親書に依り2002年  
4月14、15日大会の計画がはじまりました。

次期駐日ドイツ連邦共和国大使  
ヘンリク・シュミーゲロー  
(署名)

## トピックス



沼田ドイツ語会の“海外例会”が2001年9月19日ボンで行われた。会の創立者の長沢崇雄先生夫妻、ツイルマン夫妻、角田夫妻、清水さんはじめ12人が揃い楽しい有意義な会でした。



ボンミュンスター広場のベートーヴェン像の下にはテロの犠牲者を悼むローソクが捧げられていた。

(2001年9月19日) (角田 勤)